

## 雪と文化をテーマにした観光プロモーション会議に参加しました (2019年2月1日)

東北観光推進機構（以下、東観推）と山形県の共催で、冬の東北のブランド化推進を目的に、東アジアの旅行会社及びメディアの招請、東北6県の連携によるプレゼンや商談会等を実施し、東北の冬の魅力を情報発信しました。

【開催日】：2019年2月1日（金）

【場所】：天童温泉 ほほえみの宿 滝の湯

【参加者数】：180名（うち招請者は台湾、中国、韓国、香港から26名が参加）

### ▶ 小縣会長が基調講演を行いました

東観推小縣会長が基調講演を行い、「東北の魅力を世界に発信」という題で、観光産業の重要性、世界から見た東北の観光の現状、東北の魅力をいかにして世界に発信するか、それらの施策の効果をあげるための各種データの重要性などを講演いたしました。

### ▶ 紺野専務理事が東北のプロモーションを行いました

基調講演の後のプロモーションでは、まず東観推から紺野専務理事がオール東北の視点で冬の東北の魅力をお伝えし、その後は各県からの代表者がそれぞれの地域の代表的な観光地やイベントなどをPRしました。

### ▶ 各旅行会社に対して商談会を行いました

商談会では、各旅行会社に対して交付金事業のワークショップで作成した着地型旅行商品や体験型コンテンツの案内、および商品化に向けてアプローチしました。

### ▶ 観光交流レセプションを開催しました

東北の食文化（東北6県の食事や日本酒等）をテーマに観光交流レセプションを実施しました。

また、やまがた舞子の踊りや花笠踊り等のアトラクションを加えて、来場者に対して東北ならではのおもてなしによる販売意欲の醸成を図ることができました。



【基調講演】



【東北プロモーション】



【商談会】



【レセプション・柗酒で乾杯】

## 高速バス東北共通インバウンドフリーパスをリニューアル！

高速バス東北共通インバウンドフリーパス協議会第4回総会を実施し、本年度の事業進捗状況報告、および2019年度の事業計画（販売目標1,000枚）について承認されました。本年度事業ではチケットの大幅なリニューアルを実施し、4月の桜シーズンの需要取り込みを狙って、3月から販売を開始することといたしました。

### 【新チケットの概要】

#### ▶ チケットの券種

2日券（券面6,000円）、3日券（券面8,000円）に変更。従来は4日券・7日券と利用期間が長く利用しづらいとの旅行会社・旅行者の声を受けて期間を短くし、4日以上利用の場合は組み合わせで利用可能としました。

#### ▶ 対象路線の拡充

利用対象路線に、空港アクセス線（青森空港、三沢空港、秋田空港、いわて花巻空港、仙台国際空港から各所へ）や、主要観光地への一般路線（各所から十和田湖、横手・角館、田沢湖、安比高原、秋保など）が新たに加わり、空港到着から観光地までのダイレクトアクセスも可能としました。

#### ▶ モデルコース商品の新設

バス事業者がお勧めする、実際の時刻表で周れる1泊2日、2泊3日の新しいモデルコースを15コース以上設定し、季節やテーマ志向に合わせてPR可能な素材を整え、3月の台湾旅行博や旅行会社向け商談会での販売を予定しています。



【新チケットのチラシ】

## フィリピン旅行博 Travel Tour Expo 2019に出展しました（2019年2月8日～2月10日）

フィリピン・マニラで開催された旅行博覧会「Travel Tour Expo 2019」に、東観推として初めて出展し、旅行関係者ならびに一般消費者に対して東北の観光の魅力をPRいたしました。

- ▶ 旅行博のテーマは「春」。東北ブースでは、「桜と雪」をテーマに東北の春の魅力を紹介しました。東北ブースを訪問されたお客様は3日間で総勢4,000名に及び、訪日旅行を含めた海外旅行にける来場者の意欲を肌で感じました。
- ▶ 3～4月はフィリピンにおける旅行のハイシーズンにあたるため、多くの来場者が熱心に情報収集している姿が印象的で、東北は、桜の時期に雪も楽しむことができるエリアであることをアピールすると、「そういう場所は珍しいので、ぜひ行ってみたい。」との声も聞かれました。
- ▶ 一方、東北の位置や首都圏から東北へのアクセス方法、東北の具体的な観光地情報等について尋ねられる場面が多く、引き続き東北の認知度向上に向けた取り組みを行う必要性も感じられました。
- ▶ 来場者向けのアンケートでは東北をいつ訪れたいかという質問に対し、春が一番人気、ついで秋・冬も一定割合の高い割合で支持されており、訪日旅行で自然景観を重視して目的地を決める傾向があることがわかりましたので、今後は、季節ごとにダイナミックに変化する雄大な自然景観を東北の強みとしてPRし、年間を通じた東北への誘客促進に努めてまいります。



【TOHOKUブース】



【ブース来場者の様子】

## タイ旅行博TITF#24に出展するとともに現地関係機関にご挨拶に伺いました（2019年2月11日～18日）

タイ・バンコクで2/13～17日に開催された第24回タイ国際旅行博覧会（TITF#24）に出展しました。

- ▶ 今回の旅行博では、「満開の桜と雪の壁が同時に楽しめる東北」というコンセプトの下、タイの一般消費者に向けて東北の春の魅力をPRしました。東北ブースを訪問されたお客様からは、「昨年見た東北の桜が素晴らしかったので、今年も東北を訪れて別の場所の桜を見たい」という声が多く寄せられ、東北に興味を持つだけでなく、実際に訪れる人が着実に増えていることが実感できました。
- ▶ 旅行博に併せてタイ旅行業協会（TTAA）が開催した商談会に参加するとともに、現地旅行会社8社を訪問し、旅行会社に対して東北への送客の働きかけを行いました。旅行会社からは「訪日リピーターは自然豊かな東北に注目しており、直行便があればさらに多くのタイ人が東北を訪れるはず」といった声が聞かれました。また、タイ国政府観光庁（TAT）等の関係機関を訪問し、タイ現地における東北プロモーションへのご協力をお願いいたしました。



【旅行博の様子】



【タイ国政府観光庁】

## 中国の大連市及び広州市の旅行エージェントを招請しました。（2019年2月18日～24日）

広域連携事業の一つである「旅行会社等と連携した誘客促進事業」では、各市場にコーディネーターを配置し、旅行会社に東北商品の造成及び販売支援を実施しているところですが、フォローアップセールスを展開している中で、商品造成の意欲が高い中国の大連市および広州市の旅行会社各1社を招請し、各県との関係構築を図りながら、スキー場など東北の冬の魅力を経験していただきました。

各訪問先では現地ボランティアガイド・インストラクターによる具体的な説明を用意し、商品造成を念頭に置きつつ、歴史・文化や生活様式など被招請者が中国人顧客に対しご説明いただけるような招請内容としました。

また、東北各県との懇談等の場をセッティングし、中国人から見た観光コンテンツにおいて雪に対する興味が高いことやSNSの情報発信は綺麗な風景写真が重要であることなどのアドバイス等をいただいたとともに、今後、継続的な商品造成を働きかける両間の関係構築・強化を図ることができました。

今後も、現地コーディネーター及び東北各県と連携し、継続した東北の旅行商品造成・販売への支援を進めてまいります。



【会津若松市内街歩き】



【八甲田山トレッキング】

## 第7回フェニックス塾を開催しました（2019年2月1日）

福島県郡山市で「フェニックス塾」を開催し、セミナーにおいては36名の塾生と、一般聴講は当日参加も合わせて49名の方にお越しいただき、今期最高の出席者数となりました。

➤ 第一部のセミナーは口コミの力によるユーザー発信型のプロモーションについて、業界の第一人者であるトリップアドバイザー(株)代表取締役の牧野氏に講演をいただきました。講演終了後の質疑応答では、塾生、一般聴講者から多数の手が挙がり、それぞれの組織で抱える悩みや体験に基づく質問が相次ぎ活発なセミナーとなりました。

### 【第一部】セミナー

講師：牧野友衛氏（トリップアドバイザー(株)代表取締役）  
テーマ：「ユーザー発信時代のトリップアドバイザーの役割と活用」

### 【第二部】ワークショップ（グループディスカッション）

「東北に更に多くのインバウンドを誘致するには」をテーマにして、次回の最終発表会に備え各グループで話し合いを進めました。



【セミナー後の質疑応答】



【ワークショップ】

※「フェニックス塾」：オール東北の観点から東北の観光振興策を企画・立案する構想力と実行する行動力を持った人材を育成することを目的に、東北の観光にかかわる官、民、業種を超えた実務者層を対象に、セミナーやワークショップ等を開催している取り組みです。

## 「Visit Japan大使の集いin東北」で紺野専務理事が講演しました（2019年2月14日）

仙台市内のホテルメトロポリタン仙台において、「Visit Japan大使の集いin東北」が開催され、紺野専務理事が東北における広域連携DMOとしての取り組み紹介などについて講演いたしました。

また、当日は観光庁国際観光課長による基調講演他、VJ大使5名によるリレー講演、紺野専務理事を交えたトークセッションも行われ、2020年、そしてその先に持続する東北の観光について、観光地経営はどうあるべきか、などのテーマに沿って熱く語られました。

※「Visit Japan大使」：国土交通大臣・観光立国担当大臣より任命され、訪日外国人旅行者の受け入れ態勢に関する仕組みの構築や、日本の魅力発信に優れた取り組みをされている方々です。



【講演】



【トークセッション】

## 宮城県警と多言語電話通訳サービスの覚書を締結しました（2019年2月26日）

このたび宮城県警察本部と「外国人観光客等の安全確保への相互協力に関する覚書」を締結しました。警察本部との連携は昨年11月の福島県警察に続いて2県目となります。

➤ 宮城県では2020年東京オリンピック・パラリンピックで、サッカーの一部が開催されるなど訪日外国人旅行者が急増しており、旅行者の安全確保、事件や交通事故等に遭遇した際の迅速かつ適切な初動対応が重要であり、特に、日本語に不慣れな外国人旅行者の不安を解消するためには、さらなる通訳体制の強化等が急務でした。

➤ そこで、当機構が提供する「多言語電話通訳サービス」に宮城県警察の252施設を登録、また地域課の制服警察官が所持するPHSでの通話も対象とし、24時間365日の通訳体制を提供することで、道案内・落とし物・体調不良・交通事故・各種相談等に対してタイムリーな対応が可能となります。

※多言語電話通訳サービスの詳細は次ページをご覧ください。

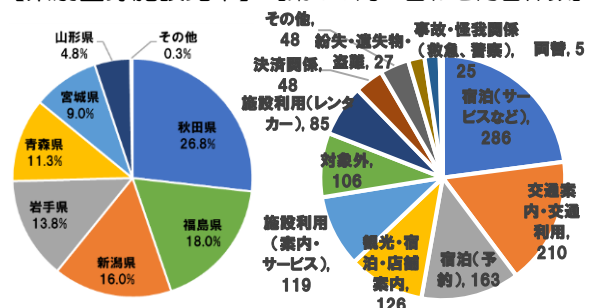
【多言語電話通訳サービス登録施設数(2月末時点)】

2,715施設



【覚書締結式】

【県別登録施設比率】 【第3Q問い合わせ内容件数】



## 2019年の『東北歴史文化講座』開催予定発表と第4回の受講募集開始です！

昨年、大変ご好評をいただきました『東北歴史文化講座』の、2019年の開催内容が決まりました。今年には東北を複数の県や広域にわたるテーマで取り上げる2講座を含めた全4回、8講座をご用意いたしました。東北エリアの「歴史」と「文化」を独自性のあるテーマで掘り下げ、多角的な視点から捉える事で知られざる日本を再発見、東北のさらに奥を知る、新たな好奇心の扉を開きます。 ※全講座東京での開催になります。

第4回（宮城・岩手）5月12日（日）「多賀城が語る古代東北の姿」・「幻想世界“イーハトーブ”の新検証」

第5回（青森・東北）7月ごろ 「十三湊と豪族・安藤氏」・「東北の手しごと」

第6回（山形・東北）9月ごろ 「北の関ヶ原合戦」・「芹沢銈介の型絵染」

第7回（福島・秋田）11月ごろ「会津の戦国武将」・「マタギの暮らし」

第4回講座（東京開催）の受講募集が始まっております。内容の詳細、お申し込みはこちらをご覧ください。

<https://www.jreast.co.jp/tohokurekishi/>

## 訪日外国人旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

近年、個人旅行化や、情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるといった外国人旅行者が増加しています。

しかし、東北においてはトリップアドバイザーにおける外国語口コミ数が**日本全体の1%程度**と、圧倒的に少ない状況にあるため、地域が一体となって口コミを収集していく必要があります。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や外国人旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様のご協力が不可欠です。

より一層東北への集客を図るため、ご協力をお願いします。

- 口コミサイトへの「管理者（オーナー）登録」のススメ＆【トリップアドバイザー】のオーナー登録手順

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2019/01/tripadvisor.pdf>

- 中華系口コミサイト【大衆点评】登録サポート（無料）のお知らせ

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2018/10/dianpin-support.pdf>



## 東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください！

### 多言語電話通訳サービス

外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。申込書をお送りします。

### 東北・新潟の周遊観光サポートアプリ

#### 「DISCOVER TOHOKU JAPAN APP」

個人旅行者を主な対象に、東北6県および新潟県の周遊観光をサポートするアプリを配信しています。

【対応言語】日本語・英語・中国語・タイ語

<App Store>

<Google Play>



多くの組織では、あと2週間ほどで年度末を迎えられることと思います。東北観光推進機構でも3月末で2018年度が終了し、現在今年度事業の締めと次年度事業の準備に追われております。毎年思う事ですが、こうしておけばよかった、こういうことも出来たかもしれない、もっと早くやっておけばよかった…様々な後悔や思いが頭をよぎり、そして反省する季節です。この旅東北NEWSも次年度にはもっと読みやすく、もっと沢山の情報を皆様にお届けよう努めてまいります。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。 旅東北NEWS編集部

「旅東北NEWS」VOL.006 2019年3月20日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp



### 「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いいたします！